

客に肥育のポイントを説明するなどして接客に励む
篠山東雲高の生徒たち＝丹波篠山市東吹で



感謝込め販売実習

J A味土里館

東雲高のA5ビーフ

J A丹波さやま味土里館（東吹）は、県畜産共進会で落札した篠山東

雲高校出品の牛肉を販売している。販売初日には、飼育に携わった生徒7人が販売実習を行った。生徒たちは、売り場に立って接客したり、厨房を見学したりし、生産、販売を経て消費者のもとへと届くまでのつながりを感じた。同校出品の牛肉は30日午前中まで販売できるといふ。10年ぶりに出品した昨年度よりも高値が付き、神戸ビーフの基準をクリアするA5ランク（B.M.S.8）の格付けで優良賞に輝き、200万円で落札された。同校3年のアグリサービズ類型の7人が、生後半年の虚勢雄「丸菊」を約2年間、手塩にかけて肥育した。定期的にビタミンを与えるなど、特に栄養バランスに気を配ったという。

同類型の（八景中出身）とさん（篠山中出身）は、「大切に育てた牛が高い評価を受けたことほうれしいが、お肉になったのを見て、今はうれしさと

寂しさが半分ずつの複雑な気持ち」と言い、「きょうは（丸菊への）感謝の気持ちを込めて販売したい」と話していた。

2人を除く同類型メンバーは次の皆さん。

2023年12月28日

丹波新聞